

第32回花卉懇談会 フォーラム

知的財産の活用と商品提案を切り口に、公的機関や流通業者、生産者など多彩な講師陣による講演やパネルディスカッションを行い、花き業界活性化について改めて考えたいと思います。

日時…2016年2月27日 13～19時

場所…東京農業大学世田谷キャンパス

1号館141教室

参加費…会員5000円

非会員8000円 学生1000円

●問い合わせ

花卉懇談会事務局

e-mail: kakikondankai@gmail.com

FAX: 046-1270-6547

【お詫びと訂正】2015年1月号で間違いがありました。正しくは以下の通りです。読者および関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。訂正し、お詫び申し上げます。

P 52 (誤) 中村淳さん ↓ (正) 中林淳さん

BOOKS



シンポジウム、新品種、新商品情報

大学や研究機関で行われるイベント、講演会などの情報を募集しています。イベント内容を明記の上、毎月5日までに編集部インフォメーション係にお送りください。編集部にて内容を確認させていただいた上、掲載いたします。ご了承ください。

本誌へ応募、投稿する場合は、下記の項目を明記して下さい。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号
⑤メールアドレス ⑥年齢 ⑦職業

宛先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11

誠文堂新光社 農耕と園芸編集部

Mail: noko@seibundo.com



里山産業論
「食の戦略」が
六次産業を
超える
金丸弘美 [著]
角川書店

地元の食材や料理で人の味覚を育て、地元の食文化をテキスト化することで継承と伝達を効率化するなど、食文化を基点に町作りを行う「食の戦略」を持つフランスやイタリアの事例を中心に紹介する新産業論。



伝統野菜を
つくった人々
「種子屋」の
近代史
阿部希望 [著]
定価: 本体3,500円+税
農山漁村文化協会

今日のF₁品種につながる固定種野菜を作出し、その品質維持、流通を担った明治から昭和戦前期までの「種子屋」たちの歴史を、経営帳簿や種苗カタログなどの貴重な一次史料をもとに辿った1冊。

編集後記

★2016年『農耕と園芸』は電子版やウェブに力を入れていきます。電子版は今年の1月号からご用意しています。NewsstandやFujisanで入手可能です。詳しくは「農耕と園芸オンライン」で検索して下さい!! (黒田)

★私も考えてみました、2015年を象徴する漢字。それは「支」。仕事関係の皆様、友達、家族に支えられてどうにか1年を乗り切ることができました。今年は私が支える立場になりたいです! (高山)

★亡き祖父の蔵書から谷崎潤一郎の新々訳『源氏物語』を発見。学生時代の古文とは違ったイメージが楽しく読み進めているのですが、安田鞞彦氏、奥村土牛氏などの挿画陣の豪華さに驚き! (丸山)

★新年明けましておめでとございませう。長期のお休みをいただき、実家へ帰省しました。大きく育った犬を枕にただひたすら寝正月を過ごし、現在あちこちで正月ボケを連発しております。 (堀内)

★知り合いからリンゴが山ほど届きました。毎年いただいているのですが、蜜がぎゅっしり詰まっていて口に入れた時の酸味と、ぷわっと広がる甘味が絶妙で、今年も大変お気に入りです。 (真)